

教育研究評議会議事録（第86回）

日 時：平成23年 6月16日（木）15時00分～16時38分

場 所：事務局第一会議室

出席者：藤井、岩淵、高畑、馬場、菅原、西崎、牧、長澤（由）、堺、長澤（孝）、上村、井上、長野、丸山、宇佐美、遠藤、西谷、藤代、岡田、古賀、山本

欠席者：新妻、八代

配付資料

- 1 国立大学法人岩手大学理事（研究・環境担当）・副学長予定者
 - 2 国立大学法人岩手大学次期役員体制（案）について
 - 3 - 1 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
 - 3 - 2 平成22年度年度計画達成状況
 - 3 - 3 平成22年度年度計画の取組状況等一覧表
 - 4 - 1 平成23年度補正予算（第1号）について
 - 4 - 2 平成23年度国立大学法人岩手大学年度計画
 - 5 岩手大学安全衛生委員会規則の一部を改正する規則（案）について
 - 6 役員会（第327～329回）報告
 - 7 学長・副学長会議報告（第188～190回）
 - 8 平成22年度決算概要
 - ・第7期事業年度（平成22年度）財務諸表（案）
 - ・第7期事業年度（平成22年度）事業報告書（案）
 - ・第7期事業年度（平成22年度）決算報告書（案）
 - 9 平成24年度概算要求事項
 - 10 岩手大学東日本大震災復興対策本部について
 - 11 入学者選抜全学委員会（第2回）
 - 12 - 1 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について
 - 12 - 2 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果
 - 12 - 3 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果
 - 12 - 4 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果一覧表
 - 12 - 5 国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況
- ◎平成23年度教育研究評議会開催日程

議 題

1. 理事の交代について

学長から、大塚理事（研究・第二期全学改革・環境担当）の後任として、資料1のとおり、小川 智教授を研究・環境担当の理事として任用することについて諮りたい旨が述べられた。

審議の結果、提案どおり承認され、今月21日開催予定の経営協議会に諮ることとした。

2. 次期役員体制について

学長から、議題1での承認を受け、次期役員体制について諮りたい旨が述べられた。

引き続き、資料2に基づき、7月1日に新たな理事を置くまでの体制と、7月1日移行の体制について説明があった。

なお、6月5日からの体制については、追認とさせていただきたいことが付言された。

審議の結果、提案どおり承認された。

3. 平成22事業年度に係る業務の実績について

学長から、平成22事業年度に係る業務の実績について諮りたい旨が述べられた。資料3-1は、年度計画の記載毎に達成水準に照らして、進捗状況を記載したものであり、5月31日開催の岩手大学点検評価委員会での意見等を踏まえ、評価担当副学長等で検討・調整した上で、本日諮るものであることの説明の後、主な修正事項について説明があった。

審議の結果、提案どおり了承され、今月21日開催の経営協議会へ諮ることとした。

4. 平成23年度補正予算（第1号）に伴う平成23事業年度の業務運営に関する計画の変更について

学長から、資料4-1のとおり、震災の災害復旧に係り、文科省から第1次補正として、施設整備費補助金及び運営費交付金の内示があったこと、このことに伴ってすでに文科省へ提出した平成23年度年度計画の業務運営にかかる計画を、資料4-2のとおり変更したいことの説明があった。

審議の結果、提案どおり承認され、今月21日開催の経営協議会へ諮ることとした。

5. 岩手大学安全衛生委員会規則の一部を改正する規則（案）について

学長から、岩手大学安全衛生委員会規則の一部改正について諮りたい旨が述べられた。次いで、総務広報課長から、資料5に基づき、改正理由並びに改正内容について説明があった。

委員から、この改正により、上田キャンパス以外の事業場の扱いについて質問があり、財務・労務担当の理事から、委員会には、オブザーバーとして出席して

いただくことになる旨の回答があった。続いて、委員から、安全衛生委員会が担ってきた事項が、他の事業場には適用されないこととなるのか、という質問に対し、上田キャンパス以外の事業場では、就業者数が50人に満たないため、法定上は委員会を置く必要はないが、岩手大学安全衛生管理規則が全ての事業場に適用されており、安全衛生に係る措置は維持されるとの回答があった。

審議の結果、事業場分割により安全衛生委員会の適用事業場は限定されるが、引き続き全事業場の安全衛生に係る措置は維持することを確認した上で、規則の一部改正について了承された。

6. その他

なし

報 告

1. 役員会（第327～329回）報告について

学長から、5月23日、5月31日及び6月15日に開催された役員会について、資料6に基づき報告があった。

第327回役員会において審議された平成23年度地域課題研究支援経費の採択について、同役員会では、事項を精査の上、配分額を決定することとしていたため、関係部局との調整を早急に行うこととした。

2. 学長・副学長会議（第188～190回）報告について

学長から、5月23日、5月31日及び6月13日開催の同会議の概要について、資料7に基づき報告があった。

3. 平成22年度決算について

財務部長から、資料8に基づき、平成22年度決算の概要について説明があった。学長からは、6月21日開催の経営協議会に諮った上で、文科省へ報告することとなる旨が付言された。

4. 平成24年度概算要求について

財務部長から、資料9に基づき、平成24年度概算要求事項について説明があった。

次いで、岩淵理事から、岩手大学震災復興支援プロジェクトの事業内容、SANRIKU（三陸）海洋産業復興研究拠点創成事業に係る関係大学との連携について説明があった。文科省との事前打ち合わせにおいて、地元の本学が主体となり、同じく海洋産業の復興に係る事業を構想している東京海洋大学と連携を図るよう要望があったことが紹介された。委員から、震災復興に係るプロジェクトは、生活復興支援、産業復興支援等、教員それぞれの研究分野に対応して進めてきており、水産分野の事業を進める上では、牽引的な人が必要ではないか、学内での協力が得られない場合、連携大学が逆に主体となっていくのではないか、人材育成

を考える際に、水産系の学科を置き、学部教育を行っていくことはできないか、当面なら協力できるだろうが、将来的にどうするかが示されないと事業に参画できないのではないか、との意見が出された。

今後、経営協議会の審議を経て、7月6日に文科省へ提出することとなり、事業に関わる教員との合意形成を早急にとることとした。

5. 岩手大学東日本大震災復興対策本部会議報告について

学長から、資料10に基づき、6月9日に開催された第4回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議の報告があった。6月1日付けの学内異動に伴い構成員等の変更があったことや、震災復興に関する主な活動状況等について説明があった。続いて、地域復興支援部門総括責任者の岩淵理事からは、今年度開始の調査・研究等のプロジェクトを改めて照会したところ、11件の申請が新たにあり、重複を除き7件のプロジェクトを追加して進めることとしたとの報告があった。

6. 第2回入学者選抜全学委員会報告について

学長から、資料11に基づき、6月3日に開催された第2回入学者選抜全学委員会の報告があった。

7. 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

学長から、1月及び3月の本会議において原案として報告していた、第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果が、資料12のとおり、5月24日付けで国立大学法人評価委員会委員長より正式に通知があったことの報告があった。本学から、原案に対し字句修正の申し出を行い、すべて当該結果に反映されていること、評価結果は、原案の際に示されたとおりであったことの説明があった。

8. その他

◎学長から、9月に予定している第88回の本会議の日程について、本学主催事業「シニアカレッジ」実施のため、9月22日（木）に変更する旨の報告があった。